

第 32 回一宮市新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事録

令和 4 年 1 月 21 日（金）午前 11 時

<総合政策部長>

1 月 20 日市内の感染確認者数は 82 人、市外 1 人、県内が 3,074 人、うち名古屋市は 1,272 人であった。

第 6 波では 1 月以降、今まで以上に急激な速度で感染者が増加し続けており、いまだピークアウトが見込めない状況が続いている。一宮市においては第 5 波の時と同様、県や名古屋市の動きに少し遅れる形で急増している状況。

19 日現在の 1 週間あたりの新規報告数は、一宮市、愛知県、名古屋市、すべてが 50 人以上となっており、国のレベルではステージ 3 以上となっている。

このような中、政府は 19 日に、21 日から 2 月 13 日までの 24 日間、愛知県を含む 1 都 12 県を新たに「まん延防止等重点措置」の区域とする決定した。

これを受け、愛知県では 20 日に対策本部会議を開催し、東栄町、豊根村の 2 町村を除く、52 市町村を重点措置区域とする県の対策を決定した。

愛知県の対策では、県民への要請として、混雑した場所や感染リスクの高い場所や、県をまたぐ不要不急の行動・移動の自粛や、高齢者等の感染防止、基本的な感染防止対策の徹底を要請している。

その他の要請では、飲食店やカラオケ店に対し、「営業時間は 20 時まで、かつ酒類の提供はなし」を基本に、「あいスタ」認証店では、「酒類の提供は 20 時までとし、21 時までの営業」も選択が可能。1 テーブルに 4 人までの黙食は変わらず継続している。事業者に対してはガイドラインの遵守と徹底、テレワークやローテーション勤務の推進のほか、職場でのクラスター防止や事業継続計画の点検などが要請されている。

イベントの開催制限や行事等での対策について特に変更はないが、対外的な練習試合の自粛など、学校関係での対応が追加されている。

昨日、尾張県民事務所の次長が来庁し、今回の重点措置の徹底と迅速なワクチン接種について改めて依頼があった。県としても市町村の要望や意向を可能な限り対応していくので気軽に相談・協力しながら県全体で対応していきたいとのこと。

<保健所長>

感染状況について、12 月 2 日の週から 12 月 16 日の週まで 0 人行進が続いていたが、12 月 23 日の週が 6 人、12 月 30 日の週が 7 人、1 月 6 日の週が 79 人、

1月13日から1月18日までで計248人、昨年の4月から累計で3,853人となった。3月以前の愛知県一宮保健所分の1,075人を除いても、この10カ月半で一宮市民38万人の100人に1人が感染したことになる。

保健所等に来所し検査した件数について、10月以降0人行進が続いていたが、12月23日から31件、うち2件陽性。12月30日から75件検査し4件陽性。1月6日の週に186件で17件陽性。1月13日の週が294件で21件陽性。約10%前後の陽性率が続いている。

比較的、重症、中等症が少なく、1月19日時点での入院数は市内の病院では6名。施設療養者数は県全体として満杯であるが、愛知県の方に入所している一宮市民は17名。

<危機管理課長>

市民への周知として、駅におけるIビジョンデータ、改札前や市の各部署において注意喚起の掲示切り替えを実施する。

今回の措置において、時間を指定した外出自粛の要請はなされていないが、飲食店が21時までの営業となること、及び企業に対し21時以降の勤務を抑制するよう要請があり、開館時間を21時までと考えている。

この時間は市の施設の開館時間と一致するため、多くの施設では通常どおりの開館とし、有料施設においてはキャンセル料の全額還付を配慮する。

例外的な対応として、いきいきセンターはじめ高齢者施設の閉館、富田山・大野極楽寺公園のバーベキュー場の利用中止を予定している。加えて公民館等の生涯学習施設及びつどいの里について、関係者との事前の申し合わせにより20時までの開館とする。

イベントについて、開催を前提に進めている。高齢者や児童を対象とした教室や催事は一部中止する。文化施設やスポーツ施設の教室の受講料等については、キャンセルに対し全額還付を行う。

本件につきましては1月22日（土）からの対応とし、本日1月21日（金）の午後報道発表する。

<副市長>

BCPについて。保育園等で感染が広がり濃厚接触者が多数出て、その中に医療関係者やエッセンシャルワーカーが多くいる場合、感染はしてなくても出勤できず、医療機関が回らないという情報があるが、一宮も他人事ではない。閉鎖できない窓口や停止できない業務がある場合、自課の大半の職員が出勤不能の

際の対応を事前に考えておく必要がある。

保育園での感染が非常に広まっており、保育園が感染拡大の引き金になるリスクが非常に高いと考えられる。53 園の中で出勤可能な職員を集め、市内で数カ所だけでも保育園を開設し、エッセンシャルワーカーの子弟を預かるなどの考え方も必要と思われる。保育士が園内でクラス間を行き来すると、感染拡大の恐れもあり、濃厚接触者にもなりうるので、複数の保育クラスを担当しない配慮や、保育士不足に対して臨時の保育士を雇用するなど、これまでと違う形での運営も考えていく必要がある。

<市長>

保育園のことについて、まん延防止措置下で子どもを休ませた際の保育料の日割り返還はどうなっているか。保育園には世間の関心も高まっており、早急な対応が望ましい。

<子ども家庭部長>

保護者へは昨日メールで連絡し、本日分から日割りの返還対応をする旨を先行して知らせ、本日分から返還を開始する予定。報道発表はまだだが、保護者へは周知済み。

<市民健康部長>

ワクチン接種について、3 回目の接種の接種券を、昨年 6 月中に 2 回目接種を終えた約 16,500 人に対して本日発送する。今後、1 月 25 日、31 日、2 月 7 日、14 日と基本的に毎週月曜日に発送予定。昨年 4 月 16 日に 65 歳以上の高齢者 10 万人超へ一度に接種券を送ったことにより大混乱をきたしたことを踏まえ、ワクチンと接種枠を確保した上で、毎回 15,000 人から 25,000 人へ分けて送ことにした。

愛知県として、年齢で区別することなく前倒しを進める意向が示され、本市としても、65 歳以上、65 歳未満とか、年齢で区別をせず、2 回目接種から概ね 6 カ月半後を目処に接種券を送付する。医療機関での予約あるいは接種の状況を見て可能であれば、さらに前倒しをする考え。

3 回目接種を終えた方は、1 月 18 日までに VRS 記録システムに接種記録が入力された人数で 6,000 人弱。割合にして 2% 弱ということでもまだ低調だが、週明け 24 日から各診療所での接種が順次始まるので、一気に増えると考えられる。

5 歳から 11 歳の子供へのワクチン接種が 3 月以降に始まる見通しであり、医

師会との連携を密にして対応していく。

<市長>

去年の4月、高齢者10万人に対し、一斉に接種券を送り大混乱をきたしたことを踏まえ、今週から週ごとに刻んで送り始める。職員も本件が話題に上がった際には、市民に理解を求める適切な説明をお願いしたい。予約や接種の状況を見て、可能であれば週に3万、4万人分をまとめて送るということも考えている。

<総合政策部長>

先ほどの副市長のBCPの件については、既に各部署で策定されていると思うので、改めて確認していざという時に備えていただきたい。

<市長>

保育料の日割り対応について、報道発表して対外的にアピールすること。オミクロン株の対応で特に若年層での広がり是非常に大きく、緊急事態宣言が発出される前にいち早く対応したことは意義深い。

他部局においても、まん延防止措置ではここまで、これから先は緊急事態宣言が出てからという切り分けを見直してもらい、柔軟な対応をお願いしたい。

保健所の応援の件について、当初は1月24日からとなっていたが、ここ数日の急激な感染拡大もあり、可能な範囲で前倒しするなど、状況の変化に応じて柔軟に対応してもらいたい。

<教育長>

小学校においても児童の感染が拡大しており、3学期が始まってから今日までで50人を超える状況。

葉栗小学校3年生において、18日に1人、昨日同じクラスで1人、今朝また同じクラスで1人感染という情報があり、この後、保健所と協議をし、明日から5日間、学年閉鎖する方向で準備している。

<保健所長>

保健所一丸となって感染拡大の絞り込みに尽力している。応援をお願いしたい。保健所内の小会議室で応援スタッフに入ってもらっているが、非常に密になっている。来年度予算案で上げている空気清浄機を可能であれば予備費等で緊急配備していただきたい。

<市長>

保健所長の要望について、是非対応をお願いしたい。

小学校等でもし学級・学年閉鎖及び休校することがあれば、配備した GIGA スクール端末を活用し学びを止めない工夫も引き続きお願いしたい。